

施策評価シート

作成日	平成20年9月24日
部署	教育総務課
作成者	湯原 清次

1. 施策の情報整理

施策名		きめ細かな教育活動の推進	
施策の情報整理	目指す成果	豊かな心を持ち、社会の変化に対応したくましく生きる児童生徒の育成をめざして、基礎基本の徹底を図りながら、一人一人の個性をを活かした学校教育が展開される。	
	施策目標値及び19年度の状況	22年度目標値	19年度達成状況
		下記に記載	下記に記載
		学校補助教員(6人)、介助員(必要数)、特別支援教育補助員(2人)、ALT(2校)、国際理解教育指導員(6校)、教育相談員(1名)、教育支援センター指導員(2名)、小学校巡回SC(1名)	学校補助教員(4校)、介助員(5校)、特別支援教育補助員(1名)、ALT(1名)、教育相談員(1名)、教育支援センター指導員(2名)、図書館司書(0校)、教職員研修会の回数(18回)、小学校巡回SC(1名)
	施策の達成状況	目標に達成していない	
	成果目標に対するH19の達成度の説明	学校補助教員は小学校4校に配置したが、前年度に比べ、1校減となった。国際理解教育指導員、図書館司書が前年度配置していたものが配置できなくなり、学校ボランティアや中学校派遣ALTを小学校に派遣することで対応していった。しかし、ALTの派遣だけでは小学校への対応が不十分であった。	
	施策の総括	困難	
	施策の方向性	・学校補助教員、介助員、外国人指導助手、国際理解教育指導員などきめ細かな教育のための人員配置を継続して行う。 ・新しい時代に対応した課題や、直面する教育課題に対応した研修会の企画・立案・実施や、学校への指導助言を行っていく。	
	他課との役割分担	分担無し	

(2) 分析後の取り組み方針

事務事業名		今までの進捗状況		今後の取組		事業費	
		達成状況	説明	方向性	具体的内容		
国際化に対応した人間教育事業	未達成		・2中学校に1名の外国語指導助手を配置し、要請により小学校へも派遣した。	拡大	・中学校の英語指導助手を雇用し人員を配置し、要請により小学校へも派遣する。より一層の充実を図るため、派遣日数を増やす。小学校6校へ英語の堪能な日本人指導員を配置し、授業時間を増やす。	H19決算	3,695
						H20	3,561
						H21	4,294
						H22	4,283
個に応じた授業改善推進事業	未達成		・学校補助教員4校、特別支援教育補助教員1校、介助員5校に配置した。 ・年間2回の就学指導委員会の開催した。 ・学校訪問による指導・支援を行った。	拡大	・学校補助教員または特別支援教育補助員を小中学校全校に配置すべく、人員を増やしていく。 ・介助員をニーズに合わせて配置する。 ・就学指導委員会のほかに、特別支援連携協議会、専門家チームの組織づくりを進める。 ・社会科副読本の作成準備、印刷製本を行う。	H19決算	13,146
						H20	10,900
						H21	14,180
						H22	20,680

	心の教育支援事業	未達成	・教育相談員1名配置した。 ・教育支援センターに指導員2名の配置した。 ・小学校巡回SCを1名配置した。 ・生徒指導会議の開催、学校への週1回程度の学校訪問を行った。	推進	・教育相談員、教育支援センター指導員を継続配置していく。 ・小学校巡回SCを継続配置していく。 ・生徒指導、道徳教育について指導・助言をしていく。	H19決算	2,775
						H20	2,637
						H21	2,637
						H22	2,731
	学校教育を担う人材の育成支援事業	未達成	・年間18回の研修会の開催した。 ・学校訪問による指導・支援を行った。 ・学校の校内研修会への講師謝礼、教職員の各種研修会等への負担金を補助した。	推進	・新学習指導要領や新しい教育課題に対応した研修会を計画し、教職員、学校への支援を継続していく。	H19決算	908
						H20	952
						H21	952
						H22	952